

# 北海道浮魚ニュース

平成24(2012)年度6号

2012年7月3日

地方独立行政法人北海道立総合研究機構水産研究本部

釧路水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## ◎道東太平洋マサバ・マイワシ漁期前調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期前調査の結果をお知らせします。

### 調査期間

2012年6月22日～6月30日

### 調査海域および調査点

道東～三陸沖合太平洋海域  
(北緯 39 度 00 分～ 42 度 25 分、  
東経 143 度 00 分～ 147 度 00 分  
: 親潮系冷水域および黒潮系暖  
水域) における 7 調査点 (図 1)。

### 調査方法

10 種類の目合 (22・25mm :  
30 間切り各 1 反、29・37mm :  
30 間切り各 4 反、48mm : 60 間  
切り 2 反、55・63・72・82mm :  
60 間切り各 1 反、182mm : 60 間  
切り 1 5 反) の流し網を用いた  
漁獲試験。

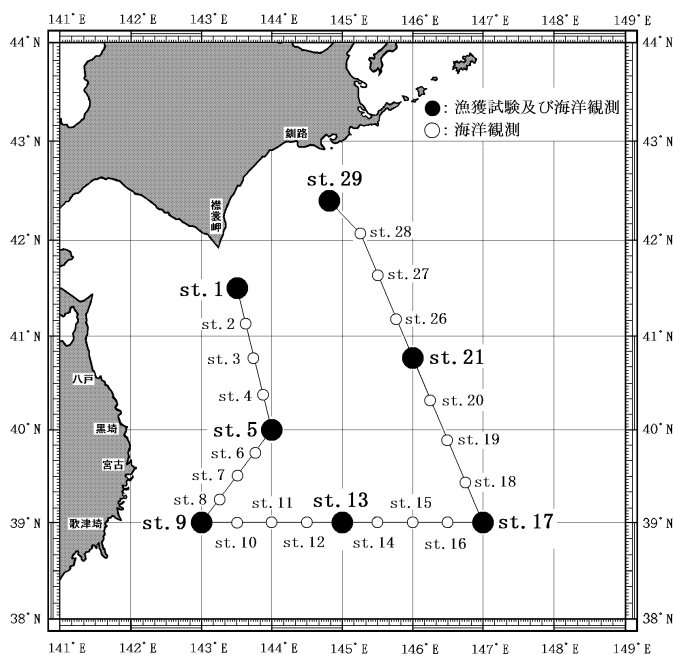


図1 漁獲試験調査点

### 調査結果

①漁獲試験を行った 7 調査点の表面水温は 10.9 ～ 17.6 °C (前年 : 11.2 ～ 18.3 °C)、50m 層は 2.8 ～ 15.1 °C (前年 : 1.6 ～ 11.2 °C)、100m 層水温は 1.4 ～ 11.4 °C (前年 : 1.6 ～ 9.8 °C) でした (表 1)。

表1 水温および魚種別採集尾数

st.	1	5	9	13	17	21	29	合計
表面水温(°C)	15.0	10.9	17.6	17.0	17.6	13.5	11.1	
50m水温(°C)	12.8	10.7	14.7	14.4	15.1	3.3	2.8	
100m水温(°C)	9.4	9.4	9.9	11.3	11.4	1.5	1.4	
サバ類	84	55	96	218	2	189		644
マイワシ	2,456	1	186		7			2,650
カタクチイワシ	3	16	6	6	873	13		917
サンマ	9				13	4	1	27
スルメイカ	1		11		1	21		34
アカイカ				19				19

②調査点別の魚種別漁獲尾数（表1）および流し網調査1回当たりの漁獲尾数（CPUE）の経年変化（図2、4、6、8、10、11）ならびに漁獲試験で採集され漁獲物（図3、5、7、9）は以下のとおりです。

・サバ類(マサバ、ゴマサバ)

6調査点で2～218尾、合計644尾漁獲されました(表1)。

CPUEは92.0尾/回で、前年の134.1尾/回を下回りましたが、1994年以降では4番目に高い値を示しました(図2)。

しかし、全国の資源評価によれば、資源水準は依然低い状態にあるものと思われます。

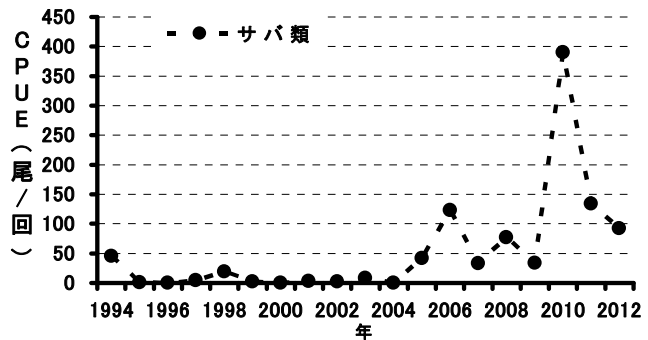


図2 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(サバ類)

魚体は尾叉長15・25～40cm台で、31～35cm台の個体が主体(図3)で、前年(主体:29～32cm台)より大型でした。

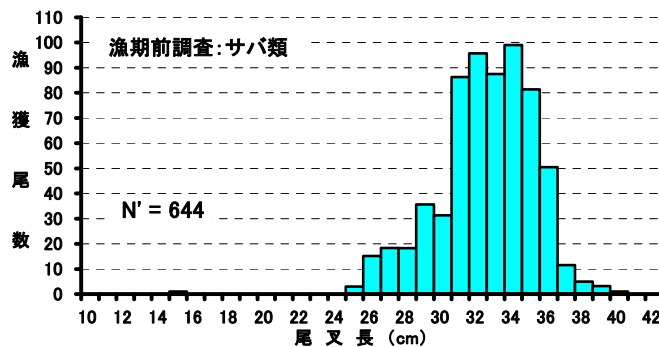


図3 サバ類の漁獲物体長組成

・マイワシ

4 調査点で 1 ～ 2,456 尾、合計 2,650 尾漁獲されました (表 1)。

CPUE は 378.6 尾／回で、前年の 103.9 尾／回を上回り、1994 年以降では最も高い値を示しました (図 4)。

しかし、全国の資源評価によれば、資源水準は依然低い状態にあるものと思われま

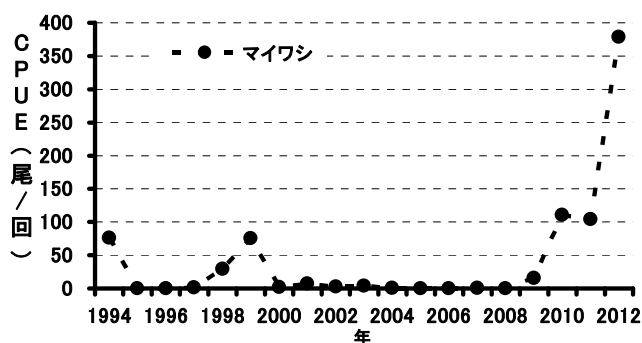


図4 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(マイワシ)

魚体は体長 15.5 ～ 21.0cm 台で、19cm 台の個体が主体 (図 5) で、前年 (主体 : 16.0cm 台) より大型でした。

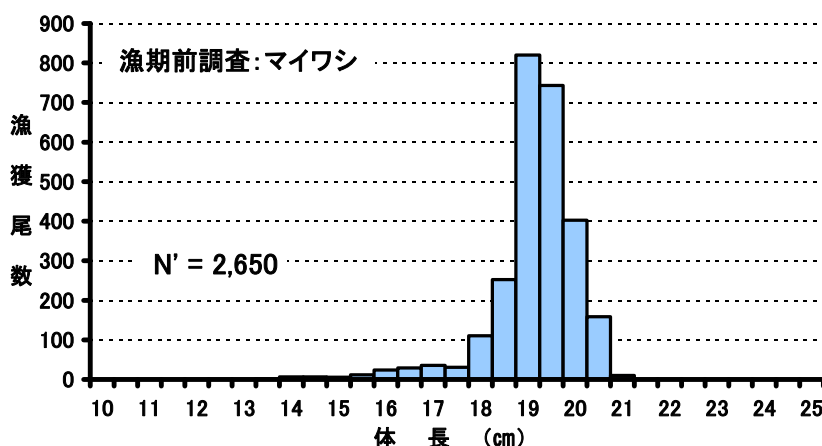


図5 マイワシの漁獲物体長組成

・カタクチイワシ

6 査点で 3 ～ 873 尾、合計 917 尾漁獲されました (表 1)。

CPUE は 131 / 回で、前年の 3,800 尾／回を下回り、1994 年以降では 5 番目に低い値を示しました (図 6)。

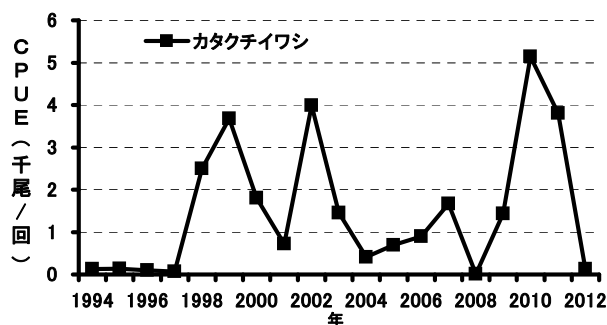


図6 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(カタクチイワシ)

魚体は体長 10.5 ～ 14.5cm 台で、12.5cm 台の個体が主体で（図 7）、前年（主体：13.0cm 台）より若干小型でした。

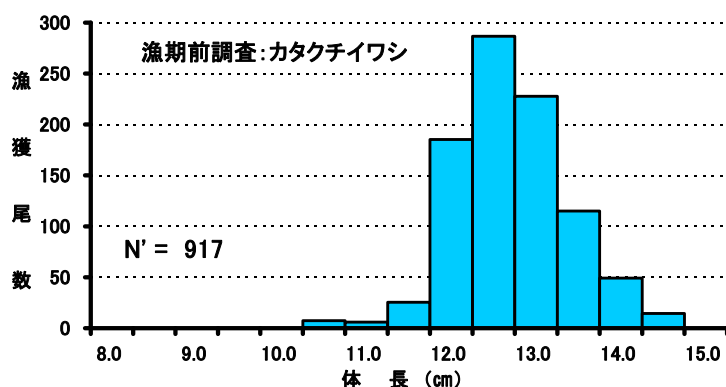


図7 カタクチイワシの漁獲物体長組成

・サンマ

4 調査点で 1 ～ 13 尾、合計 27 尾漁獲されました（表 1）。

CPUE は 3.9 尾／回で、前年の 77.6 尾／回を大きく下回り、1994 年以降では 4 番目に低い値でした（図 8）。

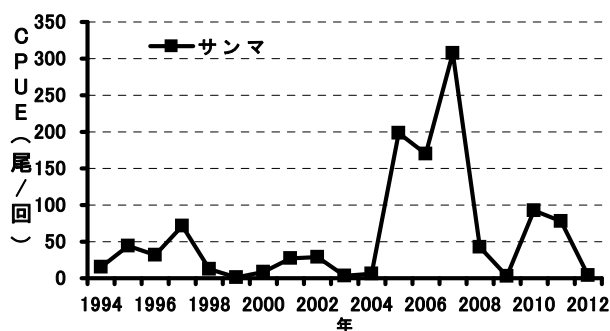


図8 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(サンマ)

魚体は肉体長 21.28 ～ 31cm 台で、29 ～ 31cm 台の個体が主体（図 9）で、前年（主体：29 ～ 31cm 台）と同様の大きさでした。

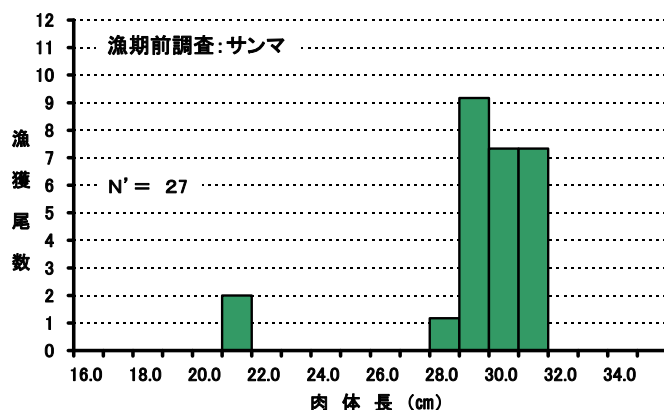


図9 サンマの漁獲物肉体長組成

・スルメイカ

4 調査点で 1 ～ 31 尾、合計 34 尾漁獲されました（表 1）。

CPUE は 4.9 尾／回で、前年の 40.6 尾／回を下回り、1994 年以降では 7 番目に低い値でした（図 10）。

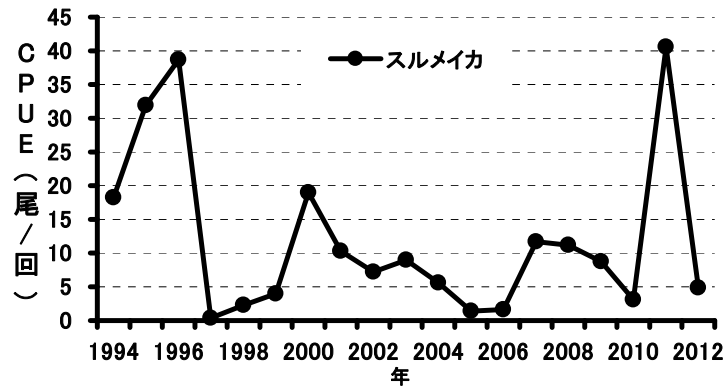


図10 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(スルメイカ)

・アカイカ

1 調査点で 19 尾、合計 19 尾漁獲されました（表 1）。

CPUE は 2.7 尾／回で、前年の 1.8 尾／回を僅かに上回りましたが、1994 年以降では 12 番目に低い値でした（図 11）。

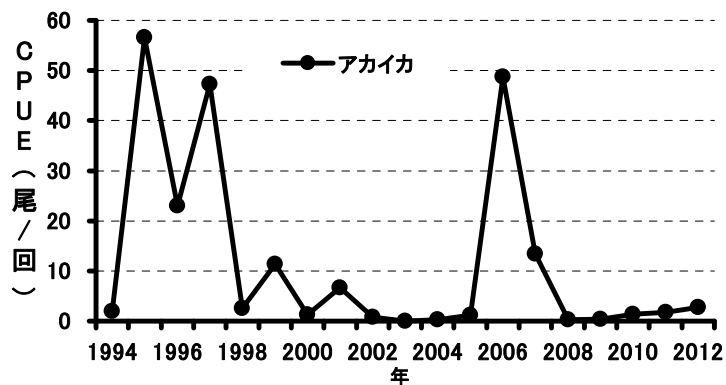


図11 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(アカイカ)

◎来る 7 月 25 ～ 26 日に、独立行政法人中央水産研究所(横浜市金沢区福浦)で長期漁海況予報会議が開催され、今回の調査結果を含めた各機関の資料を基に、漁況予報が発表される予定です。

(文責：道総研 水産研究本部 釧路水産試験場 調査研究部、  
直通電話：0154-23-6222、FAX：0154-23-6225)